

第5学年 学級活動(2)指導案

令和5年10月 日()
 小学校5年 組 名
 指導者

1 題材 ゲームやSNSとのつきあい方 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、 名という少ない人数であり、そのほとんどが幼稚園の頃から単学級で育ってきた仲間である。お互いの性格や得意・不得意までよく知っており、係の仕事を手伝ったり、学習を教え合ったりと、支え合いながら生活している場面がよく見られる。家庭に帰ってからも、ゲームやSNSを通じて友だちと繋がっている児童も多い。しかし、日常の会話からは、SNSやゲームに潜む危険性や正しい利用方法については、まだ深く理解できていないように感じる。実際に、オンラインゲームでの友達の行動に腹を立てたり、悩んだりしたことのある児童もいる。

(2) 題材設定の理由

児童は昨年より、「生命(いのち)の安全教育」の学習を深め、自分だけの大切なところがプライベートゾーンであることや、成長に伴って男女の体に変化があることについて学んできた。また、人との心身の距離感についても学び、自分の心と体を守るための学習を深めている。5年生では、理科「ヒトの誕生」の学習を通して、命の芽生えとその成長について学び、9月に行われた宿泊学習では、集団での行動や仲間作りについて学習した。

直接的な関わりの中で、自分や相手の心身を守り、大切にすることについて、詳しく学習を進めてきた。そこで、今度はインターネット上という、直接相手と会わない場面であっても、自分や相手の心身を守ることができる児童を育てたいと考えた。ゲームやSNSとのつきあい方についての学習を通して、インターネット上で起こりうるトラブルを防ぎ、自分や友達が加害者にも被害者にも傍観者にもならないための実践力を身に付けてほしいと考え、本題財を設定した。

(3) 指導にあたって

ゲームやSNSでのトラブルについて、児童が自分事として捉えることができるよう指導する。そのために、動画を用いて事例を紹介することで児童がトラブルを具体的に捉え、原因と解決策を考えることができるようにする。児童の実体験も織り交ぜながら、数値目標を入れるなど具体的に自分のめあてを立てることができるよう展開する。また、今までオンラインゲームやSNSを使ったことのない児童には、友達とのコミュニケーションの取り方について普段の生活を想起させ、本時の学習を自分の生活に生かしためあてを立てることができるよう支援する。授業後も、自分の立てためあてを振り返る活動を1週間行い、その後も本時の内容について実践の継続が図れるようにしたい。

3 活動の流れと指導上の留意点・評価規準

	活動内容	日時	指導上の留意点	評価規準
事前の活動	アンケートに記入する。	10/2(月) 朝の学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ゲームやスマートフォン等の利用状況や、困った経験などを調査し、表やグラフにまとめる。 これまでの生活を振り返る時間を設け、課題への意識を高められるようにする。 	◎ゲームやSNSに関するこれまでの自己の生活を進んで振り返ろうとしている。 (主体的態度)
本時	「ゲームやSNSとのつきあい方」	10/16(月) (本時)	本時の活動に記載	
事後の活動	自分の立てた目標や取組について振り返る。 友達同士で取組を確認し合う。	10/16(月)～ 10/23(月) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 帰りの会などを利用して友達同士で取組を確認し合う場を設け、お互いのがんばりを励まし合うことにより、実践の継続を図るようにする。 	◎今後の生活におけるゲームやSNSの使い方への見直しをもち、自己の課題を改善しようとしている。 (主体的態度)

4 本時の活動

(1) ねらい

ゲームやSNSと上手につき合うための安全な利用方法を考え、自分に合った使い方ができるようにする。

(2) 展 開

児童の活動	指導上の留意点	めざす児童の姿と評価方法
<p>1 クイズに答えたり、アンケート結果について話し合ったりする。(つかむ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> クイズやアンケート結果の開示を行い、学級全体で課題を見だし、問題解決の必要性に気付けるようにする。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ゲームやSNSとの正しいつきあい方を考えよう </div>		
<p>2 SNSでのやりとりについて、トラブルが起こる原因を話し合う。(さぐる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動画で事例を示し、具体的な場面を想起しながら考えられるようにする。 	
<p>3 なぜSNSでトラブルが起こりやすいのか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ラインでのやり取り」(小学校特別活動映像資料動画より抜粋)の動画からトラブルを具体的に捉えて、SNSの特徴を考えることができるようにする。 内容ごとにまとめて板書し、「伝え方」「ルール・マナー」などの問題が起こる原因を捉えることができるようにする。 	
<p>4 どうすればトラブルを避けることができるかを話し合う。(見つける)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 原因を話し合う中で、実際にSNSを使っている児童の経験談を聞き、自分事として捉えることができるようにする。 オンラインゲーム上でのトラブルについても事例を示し、SNSだけでなくゲームでも気を付ける必要があることに気付かせる。 	<p>◎ どうしたらゲームやSNSのトラブルを防ぐことができるのかを考え、話し合っている。 (思考・判断・表現) (観察)</p>
<p>5 自分が気を付けることを決めて、「学習カード」に書く。(決める)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 数値を示すことなどを促し、具体的な目標を立てることができるようにする。 SNSを使ったことがない児童には、普段の生活において気を付けることを意思決定できるようにする。 	<p>◎ 自分の課題に合った具体的な目標を決めている。 (思考・判断・表現) (学習カード)</p>
<p>6 自分が意思決定したことを発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が決めたことを発表し合うことで、互いがんばろうとする気持ちを高める。 	